

「埼玉発世界行き」帰国奨学生に聞きました！

平成30年度 はばたけ！女性応援奨学金 E.T.さん アメリカ

Q1 なぜ、海外で学ぼうと思ったのですか。

特に国にこだわりはありませんでしたが、自分の目的に合った大学院を探していたらそれが海外だったということが一番の理由です。自分が学びたい分野で世界トップクラスの大学院に入りたいという思いがあり、必然的に米国になりました。

Q2 留学先を決定する際に一番こだわった点は何ですか。

その大学院の教授陣と授業の内容です。私の場合は学びたい分野が明確だったので、その分野でどのような授業が提供されているか、その道に精通した教授はいるか、を重視しました。

Q3 留学先でもっとも苦労したことは何でしたか、またどのように乗り越えましたか。

高いレベルの授業についていくのと、膨大な量の宿題をこなすことにはとても苦労しました。しかし、学校では補修授業が提供されていたり、友達とグループを作って励まし合いながら一緒に宿題をしたりと、周りからのサポートのおかげで乗り越えることができました。

Q4 留学してよかったと思うことの中で、一番そう思うのはどのようなことですか。

世界レベルの授業を受けることができたことです。シカゴ大学には世界的に有名な学者やノーベル賞を受賞した教授がいます。私がまさに学びたい分野でノーベル賞を受賞された教授の授業を受講できたことは、最高の経験だったと思います。

Q5 留学前に知りたかったと思うことや、やっておけばよかった！と後悔したことがあれば教えてください。

後悔したことは特にありませんが、強いて言うのであれば、自分が留学中に学ぶ事柄についても少し予習をしておけばよかったかもしれません。そうすれば授業を受けた際の理解度が上がり、更にレベルの高い授業が受けられたかと思います。

Q6 これから留学される方に、アドバイスがあればお願いします。

ぜひ、目的を持って留学してください。外国語の習得はもちろん素晴らしい目的ではありますが、そこから一歩引いてみて、なぜ外国語を学びたいのか、外国語を習得して何がしたいのかを考えてみてください。自然と留学の目的意識が変わってくると思います。例えば、将来は海外に住みたい。そのためにはその国の文化や習慣、政治などを知る必要があります。言語習得とともに、目的を持って現地の生活に親しめば、自分の可能性が最大限に広がると思います。